

市内主要駅周辺で「春のポイ捨て禁止・路上喫煙防止キャンペーン」を実施します

～川崎市は2年連続で1人1日当たりのごみ排出量が政令指定都市最少！

今後のごみゼロを目指した取組を推進～

環境省が主唱する「ごみ減量・リサイクル推進週間」(毎年5月30日～6月5日)及び「8市連携海洋プラスチックごみ削減キャンペーン^{※1}」の一環として、資源循環と環境美化の意識向上等を図るため、市内主要駅周辺において、「春のポイ捨て禁止・路上喫煙防止キャンペーン」を5月29日(金)に実施します。

海洋プラスチックの多くは陸(まち)で発生し、河川を通じて海へと流れ着いています。陸で清掃活動を行うことで河川に流入するマイクロプラスチックが減少することから、海だけでなく陸でも清掃活動することが重要です。

今年度も全国一斉清掃活動「海ごみゼロウィーク^{※2}」へ参加し、オリジナルごみ袋で清掃活動を実施します。

なお、本市では、市民や事業者の皆さんの日々の行動の積み重ねにより、令和6年度の1人1日当たりのごみ排出量が、2年連続で政令指定都市の中で最も少ない結果となっています。本キャンペーンは、こうした市民や事業者の取組を今後も継続していくための啓発の一環として実施するものです。

※1 横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、大和市及び町田市の8市で連携した啓発活動。

※2 海ごみゼロウィークとは、5月30日(ごみゼロの日)から6月8日(世界海洋デー)までの期間で、環境省が日本財団「海と日本プロジェクト」と連携して全国の個人、団体、企業、自治体等に海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動への参加を広く呼びかけるもの。

8市連携 海洋プラスチックごみ削減キャンペーン
横浜市・川崎市・横須賀市・鎌倉市・藤沢市・逗子市・大和市・町田市
まちなかでの生活が環境保全につながり、海や川をきれいにし、きれいな海が未来へつながっていく

海ごみゼロ
ウィーク
UMIGOMI Zero WEEK

1 日時・場所

日時：令和8年5月29日(金) 午前8時～9時(1時間)

(鷺沼駅と新百合ヶ丘駅については午前8時30分～9時30分)

場所：川崎区(JR川崎駅東口) 幸区(JR川崎駅西口)
中原区(東急武蔵小杉駅東口) 高津区(JR武蔵溝ノ口駅北口)
宮前区(東急鷺沼駅) 多摩区(JR登戸駅生田緑地口)
麻生区(小田急新百合ヶ丘駅南口)

※雨天の場合は、影響の少ない場所で実施予定

※当日は、どなたでも清掃活動に御参加いただけます。

上記の時間に直接各所へお越しください。

2 内容

- (1) ポイ捨て禁止・路上喫煙防止の呼び掛け及び清掃活動
- (2) ポイ捨て行為者及び路上喫煙者への注意・指導
- (3) 啓発用のぼり旗の掲出



駅前周辺で清掃活動に誰でも参加できます

3 実施主体

環境局、市民文化局、各区役所、市民、団体等と連携して清掃活動を実施します。

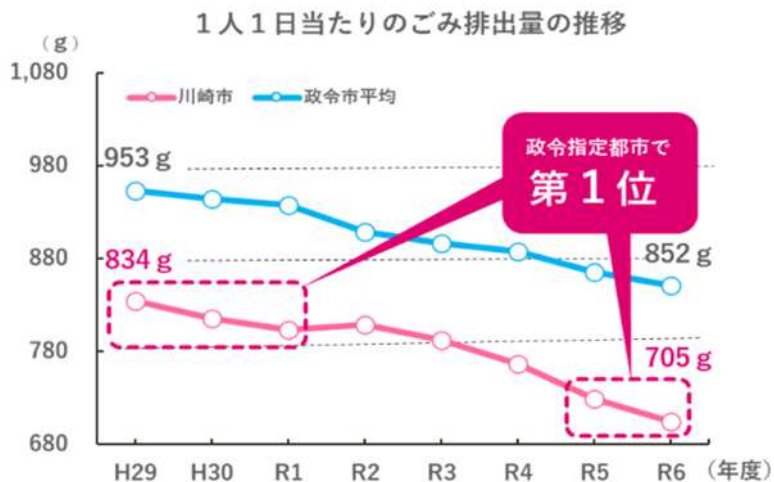
4 その他

川崎アゼリア広報コーナー(市役所通り地下通路)で、5月22日(金)～6月5日(金)にポイ捨て禁止及び路上喫煙防止に関するPRポスター等を展示します。

＜川崎市の1人1日当たりのごみ排出量、2年連続で政令指定都市最少！＞

川崎市の1人1日当たりのごみ排出量は、環境省が公表する「一般廃棄物処理事業実態調査（令和6年度実績）」において、2年連続で政令指定都市の中で最も少ない水準となりました。

なお、川崎市の令和6年度のごみ排出量は【705g】であり、政令指定都市平均【852g】を下回る水準となっています。



問合せ先

【キャンペーン・ポイ捨て防止対策】
川崎市環境局生活環境部減量推進課 山田
電話 044-200-2562 (内線 31401)

【路上喫煙防止対策】
川崎市市民文化局市民生活部地域安全推進課 石床
電話 044-200-2354 (内線 26301)

【1人1日当たりのごみ排出量】

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 鈴木
電話 044-200-2557 (内線 31101)